

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公表番号】特表2014-526620(P2014-526620A)

【公表日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2014-530903(P2014-530903)

【国際特許分類】

A 41 D 13/08 (2006.01)

A 41 D 13/015 (2006.01)

【F I】

A 41 D 13/08

A 41 D 13/00

B

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

図1から図3は共同で、本発明の一実施例による緩衝パッド200を図示する。パッド200は前述のように、肘関節の立体形状に合わせた形状、サイズおよび形態を有するが、パッドは特定のデザインまたは利用形態に対して実用的または望ましい任意の形状、サイズおよび形態であっても構わない。パッド200は、前面10、背面12および外縁/周囲14を含み、緩衝層15はオプションの外層16と内層17の間に配置されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

本発明の実施例によっては、1以上の外殻部を1以上のメダリオン18、30、32の上に配置することができる。図4から図6にかけて示すように、緩衝パッド200aは1以上のメダリオン18、30、32に配置される外殻部18a、30a、32aを含む。自身が取り付けられているメダリオンの外面に外殻部が形状一致することが望ましい。この実施例では、外殻部はメダリオンの上面と形状一致する。オプションでは外殻部は側壁36上に下方に向かって、メダリオンの上面とヒンジの上面との間の距離の一部で延出するフランジ260を含む。例えば、望むなら、フランジ260はメダリオンの上面からのヒンジの上面までの距離の約1/4から約3/4だけ延出できる。あるいは、望むなら、フランジ260はメダリオンの上面からヒンジの上面までの略全距離を下方に向かって延出することができる。実施例によってはフランジが、テープ加工されているかベベル加工された縁部を有することが望ましい(図7および図8)。これでフランジ縁部が、メダリオンの外面またはメダリオンに対して隣接関係となる他の表面(例えば、緩衝パッドの1つを組み込んでいる緩衝スリーブに重ねて着用される衣類の内部)に“引っ掛かる”ことが防止または低減されるであろう。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図1】

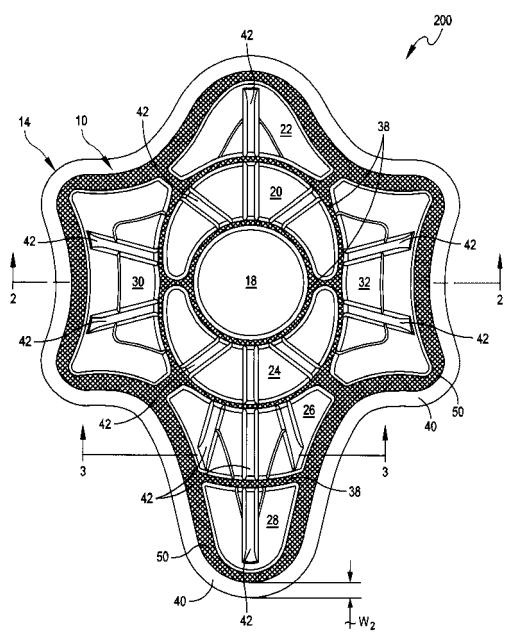


FIG. 1

【図2】

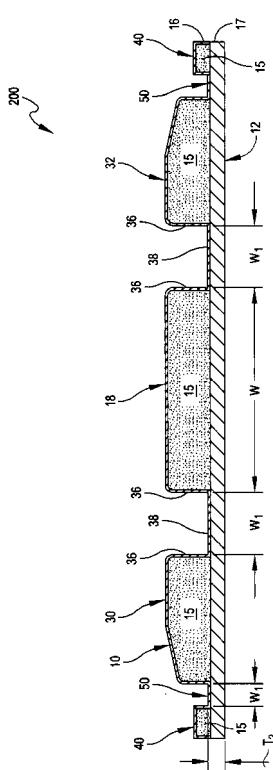


FIG. 2

【図3】

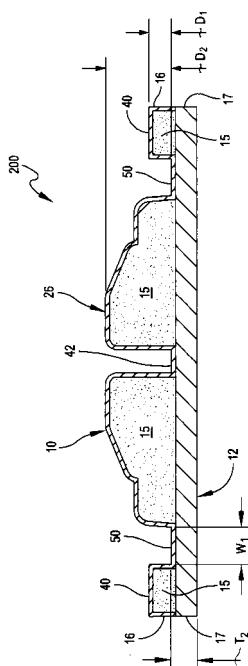


FIG. 3

【図4】

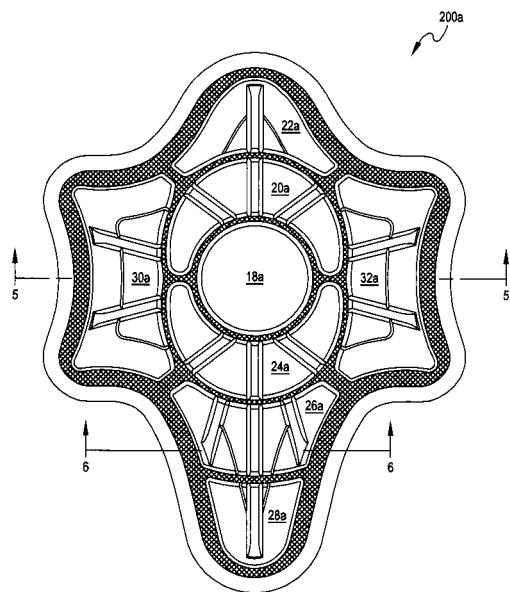


FIG. 4

【図5】

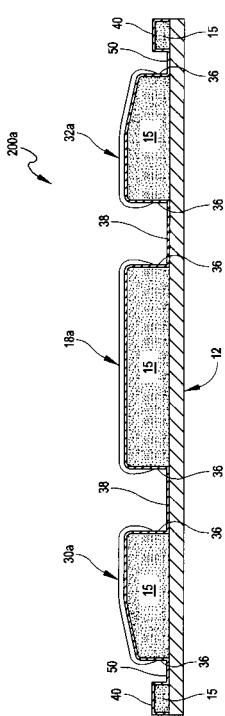


FIG. 5

【図6】

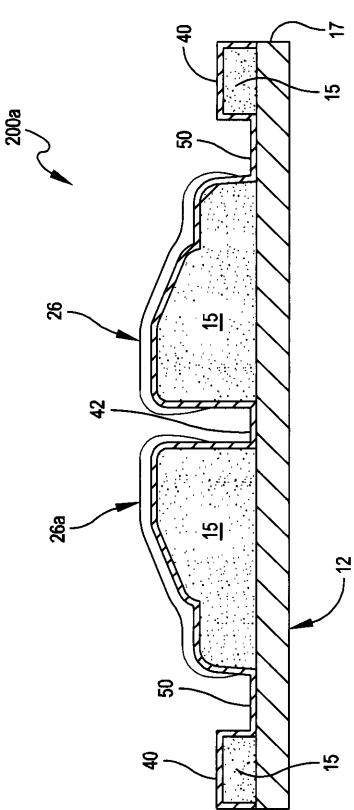


FIG. 6

【図7】

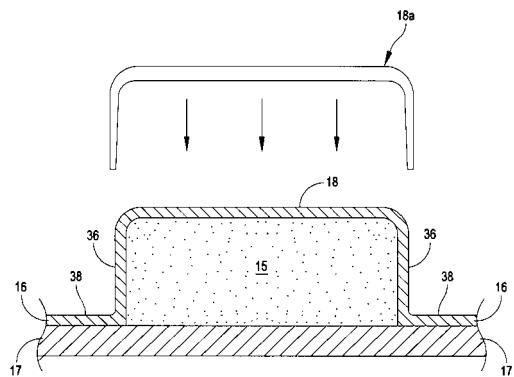


FIG. 7

【図8】

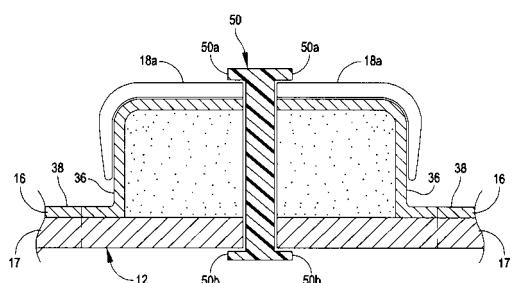


FIG. 8